

水素モビリティの普及促進

～関西初の燃料電池（FC）小型トラックを神戸市内で導入～

1 県の水素モビリティ普及への取組

- カーボンニュートラルの実現に向けて、水素エネルギー普及への取組※1を推進

※1サプライチェーン構築、関連産業振興、**水素モビリティ普及促進**等
- 水素を燃料とし、走行時にCO₂排出がないFC車は航続距離が長いため、商用車（バス・トラック）での活用が期待されている。
- 本県は、FC商用車の導入を促進する地域として国から関西で唯一「重点地域」※2に選定（R7.5.19）。重点地域内では水素ステーションに対して国の集中的な支援あり。

※2①東北(福島県)、②関東(東京都・神奈川県)、③中部(愛知県)、④近畿(兵庫県)、⑤九州(福岡県)

2 FC商用車の導入

- このたび、**兵機海運株**※3が、協力会社である**(株)大前運送店**※4及び**(株)ロジスト**※5を通じて、FC小型トラック2台を導入（納車：12月上旬）。

※3神戸市内の海運・港湾運送業者 ※4、5神戸市内の運送・倉庫事業者



【導入されるFC小型トラックのイメージ】

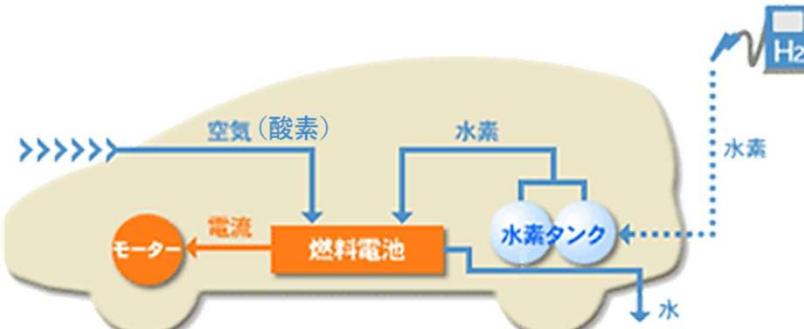
- 導入に際しては、国、県、神戸市の補助を活用

3 今後の取組

大型も含めたFC商用車の普及拡大と関西初の大規模水素ステーションの整備を目指す。

燃料電池（FC）車とは

- 燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気を使って、モーターを回して走る車
- 走行中にCO₂を排出せず、低騒音・低振動



出典：水素・燃料電池実証プロジェクトの画像を一部加工

燃料電池（FC）小型トラック

【いすゞとトヨタの共同開発】

トヨタ製造のFCをいすゞのベース車「エルフ」に搭載

【販売形態】

6年間のメンテナンスリースのみ

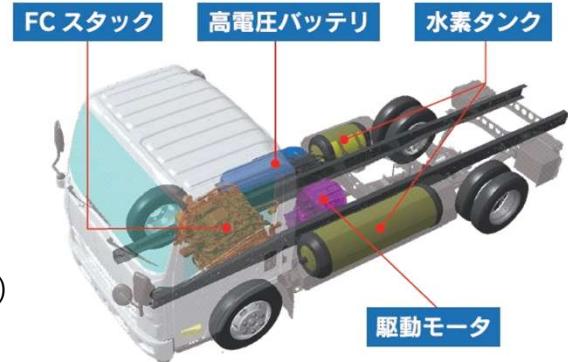
【水素搭載量】

高圧ガス水素 (70MPa) 10.5kg

【充填時間】 10分程度

【航続距離】 260km (燃費25km/kg)

【最大積載量】 2,950kg



出典：トヨタ自動車(株)

FC小型トラックへの県の支援

国、県、神戸市の補助金により、このたびの事業者負担は、ディーゼル車を導入・運用する際の経費と同程度となる。

FC小型トラック導入費補助 1台あたり上限1,250万円

FC小型トラック導入費：約6千万円

国 2,500万円	県 1,250万円	神戸市 1,250万円	ディーゼル車 導入費相当額 約1,000万円
--------------	--------------	----------------	------------------------------

水素燃料費価格差支援 水素1kgあたり上限500円 (年間上限96万円/台)

水素1kgの価格：税込1,650円（兵庫県内）

県 約500円	神戸市 約500円	軽油相当額 約650円
------------	--------------	----------------

水素ステーション（ST）

【県内の水素STは現在5基
(中規模4基、小規模1基)】

【1基建設中
(今年度末開設予定)】

【今後、短時間で商用車に
充填できる大規模水素ST
の整備を促進】



県の大規模水素ST整備補助 1基あたり上限1億円

大規模水素ST整備費：10数億円

国 6.5億円	県 1億円	市町 補助	事業者負担 4～5億円
------------	----------	----------	----------------